（構成会員向け）

第四次綾瀬市地域福祉活動計画「見える社協をつくる」アンケート

団体名

代表者名

御記入者名（役職名）

連絡先（電話）

１　平成26～30年度の「見える綾瀬市社協をつくる」では、次の6つを目標に、活動してまいりました。あなた様から見て、この5ヶ年間において最も変化があったと思う項目と、変化を感じなかった項目をそれぞれお答えください。

(1) 社協会費、共同募金が住民に還元されている実感をもってもらう。

(2) 広報活動の充実を図り、より情報が伝わりやすい仕組みをつくる。

(3) 市社協活動への住民参加を促進する。

(4) 社会福祉に関する相談を気軽に受けることができる仕組みをつくる。

(5) 地域のニーズや情報をキャッチする仕組みをつくる。

(6) 住民から必要とされる組織基盤を整備する。

○変化があった

○変化が無かった

２　上記の回答の理由として、当てはまるものすべてに〇をつけてください。

　(1) 変化あり

　　ア　会費や募金の使われ方を知った。

　　イ　広報紙が見やすくなり、以前よりも目を通すようになったり、人と話　　　をするときの情報の引き出しになったりしている。

　　ウ　フェイスブック等SNSを見るようになり、日頃の市社協活動が分かる　　　ようになった。

　　エ　市社協事業を知る機会が増え、参加しやすくなった。

　　オ　地域なんでも相談が開催されていることを知った。

　　カ　ささえあい井戸端会議が設置されたこと

　　キ　市社協職員の顔が見えており、相談や意見が言いやすい。

　　ク　自団体の定例会や会合などで、市社協職員の姿を見る機会が増えた。

　　ケ　市社協職員が自己研鑽しているのを感じる。

　　コ　その他

　(2) 変化なし

　　ア　会費や募金がどのように使われているかがわからない。

　　イ　広報紙を見ても、情報が入ってこない。

　　ウ　市社協の普段の活動が、いまいち見えてこない。

　　エ　市社協事業の参加には、敷居の高さを感じる。

　　オ　ささえあい井戸端会議の設置について、何の情報も入ってこない。

　　カ　市社協職員の顔が見えず、話をしづらい。

　　キ　団体の定例会や会合に対する職員の参加がなく、情報を交換する機会　　　がない。

　　キ　市社協職員が自己研鑽している感がない。

　　ケ　その他

３　どのように改善すれば、上記の良い変化はさらにより良く、問題で有る点は解決が図られると思いますか。

　(1) 市社協職員と情報・意見交換する場、機会をつくる。

(2) 政策提言等の意見を集約できる仕組みづくり。

　(3) 広報活動の拡大

　(4) 社協あやせ以外の広報の拡大

　(5) 市民参加による広報活動。

　(6) 会費、共同募金の使途の明確化。

　(7) 地域が困ったときに頼れる体制づくり

　(8) 在宅福祉サービスの充実

　(9) 事務局体制の改変整備

　(10)財源の拡大

　(11)研修体制の充実

　(12)その他

４　その他、「見える社協をつくる」ための御提案がございましたら御記入ください。（自由記入）